

札幌市環境局環境都市推進部 発表

Press Release



1. 水と森と空気から考える、みらい
2. エネルギーから考える、みらい
3. ごみと資源から考える、みらい
4. いのちから考える、みらい

発表日 2023年1月11日

**環境省グッドライフアワード「環境大臣賞」を受賞した
株式会社アドバコムが札幌市長を表敬訪問します****概要**

環境省が主催するグッドライフアワードは、環境と社会により活動を応援するプロジェクトで、日本全国の社会をよくするSDGsを体現する取組を「環境大臣賞」として幅広く表彰しています。

今年度で10回目の表彰を迎え、昨年12月に応募数229件の中から、企業部門や学校部門等の様々な部門における取組が表彰され、この度、株式会社アドバコムが北海道内の企業では初となる、企業部門の環境大臣賞を受賞したことから、その報告のために札幌市長を表敬訪問します。

■環境省「グッドライフアワード」

https://www.env.go.jp/policy/kihon_keikaku/goodlifeaward/index.html

表敬訪問の予定

以下の日程で表敬訪問を行います。

1. 日時

2023年1月13日（金）14:00-14:15

2. 場所

札幌市役所 市長応接室

（札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所 10階）

3. 訪問者

株式会社アドバコム

代表取締役 臼井 純信（うすい すみのぶ）様

4. 対応者

札幌市長 秋元 克広

5. 当日の流れ

株式会社アドバコム様から受賞に関する報告をいただき、歓談の後、写真撮影を行います。

取材について

- 取材を希望される方の事前登録は不要です。当日は開始3分前までに直接会場までお越しいただき、会場前の受付で名刺の提出をお願いいたします。
- 記者証又は社名入りの腕章を着用の上、現地担当者の指示に従ってください。

【本件に関するお問い合わせ】

札幌市環境局環境都市推進部環境政策課 佐竹、富士本
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所 12階南
TEL：011-211-2877

最優秀賞 懐かしい未来を里山からつくる「里の家」～風の子、海の子、里山体験～

【概要】2005年から親子の里山体験を実施。循環型のミニモデルをつくり体験するコンセプトをベースに自然体験・農林業体験・環境教育・環境保全の4つを活動の軸とした年間120回を超えるプログラムやイベントを開催してきた。また、里山の恵みを活かす樹木系精油を中心とするアロマ事業を立ち上げたほか、薬草ハーブ、藍染など里山の暮らしを伝える活動も行っている。

(実施主体：一般社団法人 里の家 場所：静岡県)



優秀賞 再生可能エネルギーの普及と地域のエネルギーによる収益を地域に還元、SDGs未来都市の創造！

【概要】東日本大震災をきっかけに、再生可能エネルギーの重要性を感じ、市民有志にて市民エネルギー生駒が立ち上がった。市民共同太陽光発電所5基で発電した電気は、自治体新電力会社を経由し生駒市内にて利用されている。また、啓発活動としてソーラーカー組立教室・大学での講座を実施。地産地消のまちづくりを進めSDGs未来都市への牽引をしている。

(実施主体：一般社団法人 市民エネルギー生駒 場所：奈良県生駒市)



優秀賞 消費者の「食べたい！」が「住みたい！」につながった生活クラブと庄内地域のローカルSDGs プロジェクト

【概要】庄内地域の水田の維持と自給飼料の拡大を図る飼料用米の取組みや、太陽光発電所の建設、生産者による地域生協づくり、また移住定住の促進による地域の持続性確保などをともにすすめている取組みである。豚肉用の飼料用米を生産し、酒田市の牧場などに出荷・給餌し、自給率向上のみならず肉質の改善にもつながっている。太陽光発電は生活クラブ組合員に加え遊佐町役場や他の生産者の工場などにも供給している。

(実施主体：生活クラブ事業連合生活協同組合連合会 場所：山形県庄内地域)



優秀賞 みぞのくちノクティ「みんなで地球をまもろう！」～一人ひとりができることを考え行動しよう

【概要】市内商業施設の中でごみのリサイクル率がワースト1になってしまったことを契機として、「みんなで地球をまもろう！」というテーマを設定し取組みを始めた。ごみ処理運用の革新により、リサイクル率は2倍に向上。また、省エネ化しながら再エネを導入することで、再エネコストを吸収しながら総コストを低減した。そして、緑化リニューアルした屋上は、地域との絆づくり・交流に役立っている。

(実施主体：みぞのくち新都市株式会社 場所：神奈川県川崎市)



企業部門 地域の自治体や学校と共に100万人のエコな子どもたちを育み続ける環境・SDGs教育情報紙「エコチル」事業

【概要】子ども環境教育情報紙「エコチル」を毎月、公立小学校に無料で配布するとともに地球環境問題やSDGsに関わる特集記事や親子参加イベントなどの普及啓発活動を多くの企業や行政と連携して実施している。



(実施主体：株式会社アドバコム 場所：全国)

NPO・任意団体部門 中津川THE SOLAR BUDOKAN (中津川ザソーラーブドカン)

【概要】太陽光発電・蓄電池・バイオディーゼル発電で運営する3万人規模の野外フェス。来場者に音楽の素晴らしさと共に環境提案を行い続け、純粋に音楽を楽しむにきた今まで環境に興味を持っていなかった人たちも含めて、みんなで環境に意識をむけられる取組みである。また、地域経済への波及効果も高い。



(実施主体：中津川THE SOLAR BUDOKAN実行委員会 場所：岐阜県中津川市)

企業部門 7ヶ月で200万倍に増殖する侵略的外来水草をバイオエタノールに～燃やすべきか飲むべきか、それが問題だ

【概要】紙くずからバイオエタノールを製造する技術を用い、カンボジアの東南アジア最大の湖「トンレサップ湖」に異常繁殖する水草「ホテイアオイ」から「クラフトジン」の製品化に成功した。現地に蒸留所兼BARを開設し、日本での販売も開始している。



(実施主体：株式会社サンウエスパ 場所：岐阜県・カンボジア)

地域コミュニティ部門 人生100年時代！！森・人・地域経済を活性化する「グッドウッドプロジェクト」

【概要】東日本大震災から11年目を迎える岩手県釜石市では少子高齢化や人口減少、経済の縮小などの課題の解決が急務である。森林や地域人財という今まで未利用であった「お宝」を活用し、多様な人々の豊かさの拡大を目的に、高齢者や未就業者の社会参加の場づくりを通じて「サステナブルなまちづくり」に取り組んでいる。



(実施主体：一般社団法人ゴジョウ 釜石支店 場所：岩手県釜石市)

企業部門 アマモ場を保全し、水産生物増殖を担う魚礁を活用した、豊かな海づくり

【概要】漁業と環境保全の両立を図るために漁業者と共にアマモ・アマモ育成礁（竜宮礁）の開発に取り組み、アマモの保全活動を行なっている。陸奥湾内に設置が進められたことによりアマモ場面積消失を減らしただけでなく、陸奥湾における生態系の維持に寄与している。



(実施主体：志田内海株式会社 場所：青森県など)

個人部門 白杵観光ナビ (青の洞門禅海和尚のように)

【概要】花づくりと黒島再開発の二本柱で地域おこし活動を行っている。黒島の歴史的価値や海の美しさを前面に出してPRし、耕作放棄地を借りて花を植え観光客を呼び込んだ結果、企業のウォーキングコースやフットパス全国大会のコースにも選定されている。様々なユニークな活動で、来島者は着実に増えている。



(実施主体：中野 重二 場所：大分県白杵市)

学校部門 「ゼロカーボンタウン能勢」の実現に向けて～地域の高校生と共に推進するまちづくり～

【概要】豊中高校能勢分校（ユネスコスクール）と地域人材の育成に向けて連携協力を推進。地域新電力会社設立に当たっては、高校生が町長と共に訪独しシュタットベルケを研究。政策形成過程への参画や課題探究学習を通じて、若者が地域の問題を自分事として考えるための取組を進めている。



(実施主体：能勢町 場所：大阪府能勢町)